Shift Left/DevSecOps Support Services

シフトレフト/DevSecOps支援サービス

経験豊富なセキュリティエンジニアが 開発初期からセキュリティを徹底サポート

シフトレフトとは?具体的には何をするべき?

シフトレフトとは、従来は開発プロセスの終盤で行われていたセキュリティ検証をより早い段階に組み込む、開発プロセスの「左側」へシフトするといった考え方です。シフトレフトにより脆弱性を早期に発見・対処することで、リリーススケジュールの遅延や脆弱性の改修コストを抑えられるというメリットがあります。具体的には、要件定義・設計段階にて脅威モデリングやセキュリティ要件の明確化を行い、開発段階にて脆弱性を作り込まないようセキュアコーディングを実践し、解析ツールをCI/CDパイプラインに組み込み自動化を進めます。

● シフトレフトにおけるセキュリティ対策





セキュリティ対策



要件定義



設計



開発/テスト



リリース

- 要件定義書/設計書レビュー
 - テクニカルアドバイザリ
 - セキュリティガイドライン策定
- コーディング規約レビュー
- セキュアコーディング教育CI/CD運用支援・アジャイル診断
- ●ソースコード診断
- りースコート診断脆弱性診断内製化
- WAF/IPS/IDS監視

(ブラックボックス/ グレーボックス手法)

●脆弱性診断

● IR/フォレンジック

シフトレフトを進めたいがセキュリティ知識や導入の悩みを抱える企業様のために、 MBSDでは熟練のセキュリティエンジニアによる2つの支援サービスを提供。

要件定義/設計レビュー

お客様の要件書・設計書をもとに脅威モデリングを 行い、開発初期段階から懸念されるセキュリティ リスクと対策をご提示

アジャイル対応診断サービス

】

お客様のアジャイル開発チームにMBSDのエンジニアが「セキュリティチャンピオン」として参加し、各開発フェーズで必要なセキュリティ対策をサポート

■ 要件定義/設計レビュー ウォーターフォール開発体制におすすめ!

本サービスでは、貴社のシステム開発の要件定義書/設計書をベースに脅威モデリングを実施 し、開発初期段階で懸念されるリスクや必要なセキュリティ事項をフィードバックいたします。 ウォーターフォール開発において、セキュリティはしばしば「非機能要件」として後回しにされ がちです。しかし、上流工程でのセキュリティ定義が不十分なまま開発を進めると、詳細設計 や実装フェーズで脆弱性が作り込まれ、技術的負債となって蓄積されます。そして、リリース前 の脆弱性診断でクリティカルな脆弱性が発見された場合、大規模な修正や、時には設計その ものの見直しが必要となり、膨大な追加コストと納期遅延が発生します。この追加コスト発生 を未然に防ぎ、効率的且つスムーズなセキュリティ実装を実現することを目的に、上流工程に おいて開発チームに明確なセキュリティ指標をご提示するサービスとなります。

IBMの調査結果によると、運用段階で 脆弱性が見つかり修正する場合と比べて、 設計段階で発見できれば改修コストを 100分の1に削減できます。



12 アジャイル対応診断サービス アジャイル開発体制におすすめ!

近年、ソフトウェア開発サイクルは急速に進化し、アジャイル開発を採用する企業様が大幅に増えています。本サービスは、貴社のアジャイル 開発チームに弊社のセキュリティエンジニアが「セキュリティチャンピオン」として参加・伴走し、各開発フェーズで必要なセキュリティ対策を 強力にサポートします。お客様のご要望に応じた幅広い支援が可能ですが、特にスプリントごとに「セキュア設計」「コードレビュー」「動的 セキュリティテスト」の3段階でセキュリティを担保し、開発速度を損なわずにシステムの安全性を高めます。



ご支援例



貴社開発メンバー様



スプリント プランニンク

バックログアイテムに

でのアドバイザリー

準じたセキュリティ観点



作成支援

設計



実装/テスト



リリース

- TDDにおけるテストケース コードレビュー
 - テストレビュー
- スコープを絞った セキュリティテスト

MBSDサポートによるお客様メリット



貴社メンバーのセキュリティ 知識向上、内製化促進

✓ お客様の開発チーム内にセキュリティに 関するナレッジが蓄積され、長期的には 貴社で自立してセキュアな開発ができる ようサポートいたします。



セキュリティナレッジの CI/CDへの組み込み

✓ 開発段階から考慮すべきセキュリティ要素 とテスト内容をMBSDが明確にします。 その内容を自動化ツールに組み込むこと で、お客様が開発物をサーバーにアップ ロードしたタイミングで、都度セキュリティ テストの自動実行が可能となります。



改修コスト・ リリース遅延リスク削減

✓ 脆弱性の早期発見により、改修コストを おさえ、スケジュール通りにリリースしや すくなります。また、脆弱性診断を段階的 に最小限のスコープで実施することで、 セキュリティ診断コストの削減が期待 できます。

その他、情報漏えい調査・セキュリティ監視・セキュリティ対策・セキュリティ診断など、様々な場に応じたセキュリティに関するサービスを扱っております。お気軽にお問い合わせください。

開発元



三井物産セキュアディレクション株式会社 〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町1-14-8 JP水天宮前ビル 6階 TFI: 03-5649-1961

Mail: sales-info@mbsd.jp



お問い合わせ

製品に関する最新情報はこちらから —— www.mbsd.ip <a>